

# 職員研修 報告書・レポート

平成30年6月10日(日)

氏名：鈴木 浩江

① 研修名：持ち味を活かす支援計画の立て方

② 研修内容：病気や障害を持つ方との関わり

夢や希望に沿った支援計画の立案のプロセス

演習①私は誰でしょう ②自分の良いところ自己紹介褒め言葉シャワー

③ 成果/感想：

自立センターに入社してから、支援計画の立案を行なってきましたが、改めて支援計画の立て方が自分の考えていたものと、ずれていたと思いました。本人主体の支援計画を立てていたつもりだったのですが、支援員主体になっていました。

本人主体、夢、希望を叶えるために支援員が行える事、本人が行える事を引き出して行く事が重要で、引き出して行く時に信頼関係がないと難しいと思いました。自分も研修で演習を行ない自分の事を相手に伝える事が難しく、言いたくないことや知ってほしくないことを、つい隠してしまいたくなる気持ちが良く解りました。

自分の強みについても、しっかり把握していなく強みを聞かれても思い当たらずに聞き取られてそこがあなたの強みと言われても、ピンときませんでした。

利用者の方も自分の強みと言われてもそう思えない人が沢山いると思い、その強みについてどのように引き出して行くか課題と思いました。

褒められ慣れていないので褒める所を探し出す事も難しく感じました

④ 今後の支援に活かすため、具体的に実行する行動：

本で行なった演習を改めて自分で行なって見て、就労移行支援事業所の作業班の利用者と実際に行っていきたいと思っています。具体的には支援計画の立案の時に本人主体で立てて行くようにしたいです。また、本日土屋先生が話されていたストレングスについて作業班の利用者全員に聞き取りしようと考えています。7月から8月までに聞き取りしていけたらと考えています。